

2015年 & 2019年W杯開催地間もなく決定! / ブレディスローカップ日本開催決まる

平成21年9月1日発行(毎月1回1日発行) 第38巻・第9号 通算444号  
昭和50年7月2日第三種郵便物認可

ラグビーマガジン

# Rugby magazine

SEP. 2009 No.444

9

'09-'10

どうなる? ダイガク! Vol.2

早慶明同、帝京、東海の主将、新戦力チェック

解「体」「心」書

アイセア・ハベア

[天理大/CTB]

# 特集

# ジャパンは強くなったか。

## パシフィック・ネーションズカップ

REPORT

最終戦はフィジーに惜敗。

昨年と同じ1勝のみ。

INTERVIEW

ジョン・カーワン[ヘッドコーチ]

ショーン・ウェブ[SO/FB]

豊田将万[FL]

## U20世界選手権

総括インタビュー

薫田真広監督

「型」SH滑川剛人

「壁」FL山下昂大

特別  
定価 920円

ベースボール・マガジン社

<http://www.bbm-japan.com>

## 新風、吹き抜ける。

風人がB-1プレミアム制覇、レディースはSAMPLEがツアー2勝目を達成。



本格的な夏の到来を間近に控え、JAPAN TOUR 2009もいよいよピークアップ。7月に入り毎週末、全国各地の砂浜で熱い戦いが繰り広げられている。今月号ではROUND2南紀白浜大会から関西大会、中部大会の結果をレポート。7月26日のクライマックス・全国大会へ向け加熱するビーチシーズンから目が離せない!

ROUND 2 [www.beachfootball.com](http://www.beachfootball.com)  
第14回  
南紀白浜大会

6/27(土)・28(日)  
会場: 和歌山県白浜町・白良浜海水浴場  
主催: 国際ビーチフットボール協会  
共催: ビーチフットボール白浜大会実行委員会  
後援: 白浜町/白浜観光協会/白浜温泉旅館協同組合/白浜町商工会/JA紀南

敗者戦から勝ち上がりROUND2覇者となった風人。白浜特有の深い砂も苦にせず、決勝では虎の子の3点を守り抜いた



レディースは東海大会に続きSAMPLEが頂点に。5人での出場ながら最後まで集中力は途切れなかった

OFFICIAL STAFF WEAR  
株式会社ドーム



得意のロングパスを中心の組み立てで見せ場を作ったteam ZEROだったが、あと一步が遠かった

**美**しい景観、疲れを癒す温泉、そして光り輝く純白のビーチ! 2009年のジャパンツアー第2戦、南紀白浜大会が6月27、28日、和歌山県の白良浜海水浴場にて開催された。環境の良さから例年ツアー屈指の人気を誇る本大会だが、今年は過去最高となる94チーム(レディース、キッズ等を合わせれば120オーバー!)が参加。絶好のロケーションに加え、街の至る所にポスターやのぼりが設置されるなど、街全体に大会を楽しむ雰囲気が浸透していることも、多くのビーチフットボールを惹きつける理由だろう。

さて両日とも好天に恵まれた今大会。2日目の決勝トーナメントは東海大会に続き、敗者復活戦を組み合わせた特別方式が採用された。前年度の王者・Beach BoysやROUND1優勝のDENKO MACなど実力者が顔を揃える中、B-1プレミアムで決勝に勝ち上がったのは3年ぶりの優勝を目指すteam ZEROと、敗者戦からはい上がった風人(かせんちゅ)。白浜独特の砂質に当初は苦戦が予想された初出場の風人だったが、出足鋭いディフェンスで大会常連であるZERO得意のロングパスをことごとく封殺。わずかな隙について奪った3点を守り抜き、頂点に立った。

初出場にして見事優勝を果たしたこの風人だが、その内容はUNOやGT-10、如水庵の

メンバーによる混成チーム。短い準備期間にもかかわらずチームとして機能できたのは、長年の経験によって培われたセンスゆえだろう。「現在の上位勢は体力、スキルもほとんど変わらない。大切なのは感性とコミュニケーション。一瞬の間でどこまでイメージし、それを共有できるかが勝敗を分ける」とは、IBFAの若狭副会長。

東海大会と同じ顔合わせとなったレディース決勝は、3-3で迎えた延長戦で見事Vタツティンを決めたSAMPLEがツアー連勝を達成。なおSAMPLEはすでに全国大会出場権を取得しているため、準優勝のJOLIESが白浜大会代表として全国大会に出場する。その他、今大会では近鉄ライナーズの選手も参加し、キッズチームと対戦する一幕も。ラグビー以外の活動を通じて存在をアピールすることは普及やファン拡大の面でも有意義なだけに、今後さらにこうしたシーンが増えていくことを期待したい。

初日の夜には恒例の実行委員会主催のマイチーム火花大会が催され、各チームの思いを乗せた50発の打ち上げ花火が上がると、今年も大盛況のうちに幕を閉じた白浜大会。年齢や性別、レベルを問わず各カテゴリーで熱戦が繰り広げられる様子は、この先さらにシーズンが過熱していくことを強く予感させた。



青い空と海、真っ白なビーチ。絶好のロケーションが白浜大会の人気理由



若さあふれるプレーを連発。OVER35連覇を果たした大阪スパーマンキーズ



エキシビジョンでは近鉄ライナーズの大男たちがキッズと対戦。これも大切なファンサービス!



今年も大会期間中はイベントが盛りだくさん。恒例のジャンケン大会も実施された



### ▶B-1 PREMIUM

DENKO MAC	0	3	風人
風人	10	0	
team ZERO	6	0	
Beach Boys	0	0	

### ▶LADY'S TOURNAMENT

JOLIES	0	16	SAMPLE
Un tache merde	3	0	
SWITCH-on!!	0	0	3(0)
マジックエリンギ	6	0	
小梅	0	0	
Team 梅っち	0	0	
Team Leap	16	0	3(3)
くっちょくっちょ	3	0	
SAMPLE	10	7	

### ▶OVER35

大阪スパーマンキーズ 15-0 Laugh and Grow Fat



B-1プレミアム・優勝 風人(京都市)



B-1プレミアム・準優勝 team ZERO(兵庫県)



レディース・優勝 SAMPLE(福井県)



レディース・準優勝 JOLIES(東京都)



オーバー35・優勝 大阪スパーマンキーズ(大阪府)